

第2回 自然生活館 空の詩(うた)

## 伝えたいことは、食べ物の“命”の大切さ

米、野菜、調味料、化粧品、タオル、洗剤…。有機・無農薬にこだわった食料品と無添加の日用品がそろった“街のよろず屋”。信頼できる商品や、若き生産者の頑張りや世に広める役割を務め、マクロビオティックの情報発信も積極的に行う『空の詩』を訪ねた。

文＝中村哲也 写真＝編集部



福岡県の閑静な住宅街。その街並みに溶け込むように控えめに建つ『空の詩』。店内には子ども連れのお母さん、大きな袋を抱えた年配の方…。皆、一つ一つの商品を熱心に見つめながら、スタッフに質問している。

店舗の外に張られたテントには、じゃがいも、ほうれん草、かぶりんごなど、有機・無農薬栽培の青果が並び、豊富な品ぞろえを求めて、飯塚や若松といった遠方よりはるばる訪れるお客様も多いという。

「この世界に入ったのは、本当に偶然。体調を崩して食に目覚めたわけでもないんです」と大らかに笑うオーナーの藤野良明さん。以前は建設関連の会社で営業職に就いていた。その時に、あるみかん農園の方と知り合った。「考えていることは、いかにみかんをおいしく作るかだけ。何で自然体でかつこいいんだと感じました」。人に会う時、真っ先に名刺を出す自分に空虚感を感じ、44歳の時、会社を辞めた。

その後、手掛けた野菜販売で、大手スーパーとの差別化を図ろうと有機・無農薬に興味を持ったのが、現在の道に進むきっかけとなった。

マクロビオティックや有機農

福岡県福岡市東区和白東  
2-27-13  
092(608)9511  
9:30~18:30  
月曜  
<http://www.soranouta.com/>

業について学ぶ中で、若い母親に食の大切さを伝えることが使命と感じ、7年前に『空の詩』を開店。現在は、店舗での販売に加え、オーガニックレストランや保育園、個人向けの宅配を行っている。

店に並べる野菜の生産者とは、取引を始める前に直接出向いて、畑を見せてもらう。「農業に対する思いで、野菜の良さが分かりますから」という。

また、若い農家の支援にも力を入れ、積極的に野菜を取り扱う。農家の方への感謝の気持ちを持ち、農業に対する考え方を分かち合いたい、九州各県で農業体験ツアーも実施している。

マクロビオティックインストラクターの資格を持つ藤野さんは、「野菜の命が終末を迎える場所は、人間のお腹であってほしい。廃棄ではなく、ちゃんと食べられることで、命は生かされています」と野菜の“命”への思いを話してくれた。



1.店の品ぞろえには、「自然食品店と名乗るからには、野菜、米、調味料を扱うべき」というオーナーの意向を反映 2.特に力を入れているのが雑穀。写真は、古代もち米がブレンドされたもの 3.味噌やしょう油などの調味料、タオルなどの生活用品などさまざまな商品が並び店内。「品ぞろえはもちろん、お客様の問いにどれだけ答えられるかも大事。スタッフには常に勉強して、店のことを説明できるようにと指導しています」 4.福岡をはじめ、熊本、宮崎、佐賀などから新鮮な有機・無農薬の野菜が届く 5.オーナーの藤野良明さんと奥さんの静江さん

